

最近の活動から

有意義だった東京での研修会

1月22日から24日まで、東京の自民党本部ビルで「自民党島根県支部連合会 地方議員研修会」として、島根県議会議員9名と松江市議会松政クラブ5名、出雲市議会9名が参加。「子ども未来戦略について」は小倉将信前子ども政策担当大臣が講師になるなど、研修項目にふさわしい専門的な知識・実践経験を持つエキスパートの自民党国会議員6人の皆さんが専門分野の講話、挨拶を兼ねた時局の解説などを行いました。

現在起きている課題や問題を的確にわかりやすく説明され、中には成案前の事柄もあり、今後の政策の行方など大いに参考になり、有意義な研修会でした。



国会議員を講師の研修会

体協支部のボウリング大会

2月3日は、体協出雲郷支部主催の「第15回ボウリング大会」を「しんじ湖ボウル」で開催。地区内から14チームが参加し、冬の運動不足解消に楽しい時間を過ごしました。笑い声が絶えないゲームに勝敗は二の次ですね。

野々内は体協支部長を務めさせていただいていますが、新型コロナウイルスの影響で地域の体育行事は大きく影響を受けました。特に、町民体育大会は令和元年の大雨で中止して以来、今年は6年ぶりとなります。健康づくりはもちろん、災害時にも貢献できる地域のつながりを求めています。



支部長として始球式に臨みました。幸いゲーターは免れました。

ベトナム人寄宿舎のご近所様交流会

2月15日、東出雲町揖屋にベトナム人寄宿舎「シェアハウス東出雲」が開所し、ご近所様交流会に招かれて出席しました。設置者は社会福祉法人敬仁会さん。

ご近所様交流会は、近所から8名、法人から5名、雇用されているベトナム人の皆さん13名が出席。手づくりのベトナム料理を味わいながら、交流を深めました。

今後も貴重な戦力として外国人の就労が続き、このような居住施設も増えていくと思われませんが、共存できるよう双方が努力することも必要です。

地域の皆さんも出会われたら声をかけてあげてくださいね。



ご近所交流会の一コマ

東出雲の公共交通施策を市長に要望

3月25日には、東出雲地区における公共交通施策についての市長要望に、東出雲町の自治連合会、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会の皆さんと市役所に出かけました。

要望は、AIデマンドバス導入など交通弱者にとって利便性の高い域内交通の検討・松江市営バス竹矢線を東出雲まで延長・松江市全体を対象とした地域公共交通の再構築を進めてほしいの3点。上定市長に要望書を提出し、意見交換を行いました。

地域住民が安心して生活するために必要な交通政策が実現するよう、努力してまいります。



市長に要望書を提出し意見交換を行いました。

6月定例議会予定

| 6月 | 11日(火) | 17日(月) | 18日(火) | 19日(水) | 20日(木) | 21日(金) | 24日(月) | 25日(火) | 28日(金) | 7月 | 3日(水) |
|----|-----------------|--------|--------|-----------------|------------------|----------------------|---------------------------------|----------------------|------------------------|----|------------------------|
| | 本会議(会期の決定、提案説明) | 一般質問 | 一般質問 | 一般質問・議案質疑・委員会付託 | 総務委員会・予算委員会総務分科会 | 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会 | 経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察 | 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会 | 予算委員会(分科会長報告・質疑・討論・採決) | | |
| | | | | | | | | | | | 本会議(委員長報告、質疑・討論・採決)、閉会 |

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.51を発行いたしましたので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ 出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選平成29年4月3期目当選、令和3年4月4期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670 TEL・FAX/0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/

まこと

ののうち
のまこと VOL 51

後援会だより——April

発行日:2024年(令和6年)4月28日

令和6年度の
松江市政の課題

令和6年度は、市長や市議会議員が今期最終の4年目を迎え、一段と力が入る年度となります。

都市計画の「線引き制度」によらない新たな制度の構築を急ぐ年度ですし、市民要望をかなえる地域公共交通の改善、松江駅前周辺のまちづくりの推進、松江市総合体育館の改修や松江市新庁舎工事の予定通りの進捗、変化に強い企業づくり、農林水産業の振興、持続可能な観光の振興、子育てを安心してできる環境づくりなどなど、課題は山積しています。

市民の皆様のニーズや課題を的確にとらえ、令和6年度も市政に皆様からの要望を反映するよう頑張っています。引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

マンション棟」計画に対する景観審議会の再度開催についての陳情は不採択。今回の議会の特徴は、この高層マンション計画をめぐる陳情審議や、議員提出議案2件の審議でした。この2件は松政クラブが起草し「松江市の歴史的・文化的な街並みと景観保全に関する決議」は可決し、市中高層建築物の建築に係る手続きに関する条例の一部改正案は残念ながら否決となりました。採決は全て電子表決で行われました。

他の議員提出議案として「松江市

議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定」と「松江市議会委員会条例の一部改正」を可決しました。これらの議案は、野々内誠公式ブログ2月16日と21日、3月23日で紹介しています。

また、代表質問は9項目を質問し2・3ページで特集しましたが、かなり省略しています。松江市議会 インターネット中継(media-streaming.jp)では、質問と答弁全てを動画で見ることができます。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

令和6年度当初予算などを可決

2月定例議会

松江市議会2月定例会は、3月22日に32日間の会期を閉じました。

今議会は、条例案件34件、単行案件18件(内指定管理者の指定8件)、令和6年度当初予算など予算案件25件、承認案件1件、報告案件5件の計83件や藤原亮彦教育長の再任同意案件などを審査し、議案を全て可決しました。

一方、「(仮称)殿町プロジェクト



会派を代表して代表質問

2月26日の33回目の一般質問は、会派「松政クラブ」を代表し、代表質問を行いました。質問を一括で述べたのち答弁を一括して行う方式で行っていますが、一問一答方式で記載しています。答弁は、すべて上定昭仁市長、再質問は一部を除き省略し記事は文面の都合上簡潔にしています。

Q1 令和6年度の施策方針と財政課題について

（1）令和6年度の特徴的な施策は何か、令和6年度事業により松江市総合計画「MATSUUEDREAMS2030」の進捗と達成見込み、予算編成の特徴と財政上の課題・財政健全化について伺う。
上定市長 令和6年度は、エネルギー価格や物価の高騰に対処しつつ本市総合計画「MATSUUEDREAMS2030」の着実な実行に向けて、中長期的な視点から注力すべき施策を重点的に予算化している。

令和6年度当初予算は、既存事業の見直しやデジタル化による業務の効率化を図りながら、人件費・扶助費など義務的経費の増加分や、中期財政見通しで想定している一定の普通建設事業費を賄うとともに、限りある財源を「MATSUUEDREAMS2030」に掲げる5つの柱に沿った施策に重点

配分した結果、予算総額は過去最大規模の1,064億円となった。目下、本市の歳出予算の増加に歳入予算が追い付いておらず、この状況が長期化すれば財政調整基金を積み戻す原資の決算剰金を捻出できないことから、国の地方財政対策の動向を注視しつつ、人件費の抑制、業務の効率化、スクラップ&ビルドの徹底、公共施設の適正化を始めとする歳出改革に不断に取り組み、財政の健全化を確保する必要があるものと考えている。



代表質問する野々内

Q2 各計画の結論時期について

（1）土地利用制度の方向設定や景観計画の見直し、地域公共交通計画なども喫緊の課題として策定を急ぐべき。
上定市長 新たな土地利用制度は、できるだけ速やかに構築すべく調整を行っている。松江市景観計画の見直しは、現行計画策定から16年が経過し計画の改正などを検討していく。松江市地域公共交通計画は、「松江市公共交通利用促進市民会議」において策定作業を進め、令和6年中に取りまとめた。

Q3 「仮称 殿町プロジェクト」の進捗の計画について

（1）今後の高さ規制を検討するための審議会開催や、松江城天守閣直下の土地に2度目・3度目の同様な建築計画が出ないよう、市長はどのような対策を考へるか。また、現計画地を市が買収する考へを持っているか、その際の買収価格等の検討がされているのか。
上定市長 景観審議会の諮問・答申の手続きが市景観条例の規定に則ったもので、景観審議会から提出された正式な答申を反故にはできず現時点で改めて諮問を行う考へはない。しかし、同委員からの意見聴取機会を設けるべく調整を図っている。一方

で、国宝松江城から至近の場所に高層建築物が乱立するよつな事態は何としても避けなければならず、景観規制を出来るだけ早く改めるべきものと考えている。

Q4 タクシー不足問題について

（1）「改正タクシー特措法」によって、本市は準特定地域に指定されタクシー事業が供給過剰となる恐れがあると認められる地域となっている。この地域指定はタクシー不足の現状に合っておらず、タクシーの増車をするため市において指定解除の申し出を行つべきだと考へる。
上定市長 本市におけるタクシーの1日1車あたりの実車キロ及び旅客収入が、国土交通省が基準と比較して減少していることから、「供給過剰」となる恐れがあると判断されている。さらに、本市からの申し出による解除はできないことを島根運輸支局に確認しているが、本市における運転手不足によるタクシー不足の実態を踏まえれば、

Q9 黄泉比良坂を市の資源として活用する考へはないか

（1）黄泉比良坂は古事記にも登場する神話の舞台となる場所で、映画や人気テレビ番組等に取り上げられネット検索大手の昨年の都道府県別の検索ワード上位ランキングでは、島根県1位になった。新たな注目を浴びた場所として、自動車の回転場や駐車場の整備、誘導看板などの整備を行うなど、市の資源として取り組む考へを伺う。
上定市長 黄泉比良坂の来訪者は急増。来訪者の誘導に関する案内表示は近く設置が完了する見込み。進入路手前に駐車場用地が確保できないか、地元関係者の皆様と協議を始めていく。今後も、古事記の伝説が息づく神秘的な地として魅力が伝わるよう、周辺環境の整備や情報発信に努める。



奥能登国際芸術祭(珠州市)の野外アート

コロナ禍後は徐々に再開できている。今後さらに活発にやり取りすることで友好関係を深める。

Q8 ビエンナーレ等、市の野外美術事業を進めよ
（1）屋外アートは全国的に人気があり多くに自治体で取り組んでおり、姉妹都市でも尾道市や珠州市が取り組んでいる。本市でも文化度を高める事業に取り組む考へを伺う。
上定市長 野外芸術活動は、文化力向上や観光振興、地域経済への波及効果も期待される一方で、事業継続には、財源の確保とともにアーティスト・事業者・住民の協力と理解が必要不可欠。引き続き、他地域での先進事例を参考に、実施体制・予算などについて調査し、本市の景観や環境とアートとの融合について検討していく。



神話の舞台の黄泉比良坂

Q5 能登半島地震の被災状況から見た本市の防災の考へ方について

（1）能登半島級の地震が起きた場合、現在の本市の消防本部能力は災害の何割程度に対応可能か、何割の市域で対応可能か。
上定市長 こうした非常時において、消防機関である消防本部・消防署・消防団は、人命救助を最優先に活動することが原則となる。対応能力の数値化は難しいものの、災害が同時に多発した場合に

は消防本部では対応能力の不足等

Q7 姉妹都市との交流について

（1）珠州市には今回の地震で親身になった対応が続いている。姉妹都市交流の基本的な考へ方と現状を伺う。
上定市長 能登半島地震に関して姉妹都市の珠州市を支援すべく、継続的に職員派遣している。尾道市・宝塚市・大町とは、引き続き交流を継続していきたい。

姉妹都市との交流については、

Q6 東京での市の出先機関の再設置について

（1）国からの情報を早く入手するため、東京での市の出先機関の再設置について伺う。
上定市長 本市の事務所廃止後は、島根県東京事務所にも本市職員を派遣して、各省庁との連絡調整にあたっている。また、本市から各省庁に職員を派遣している。

で、地域の消防団、防災組織、防災ヘリなどと連携した対応が必要不可欠と捉えている。

（2）消防団員増員や地域防災団体による地域防災力の強化について。
上定市長 引き続き地域防災力の維持・強化を目指して、行政、消防団、自主防災組織など全ての関係機関が連携・協力して活動できるように取り組んでまいらる。